

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.4)

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版		■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3)						
ロジクエア京田辺B新築工事								
スコアシート		実施設計段階						
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								3.6
Q1 室内環境								-
1 音環境				-	-	-	-	-
1.1 室内騒音レベル				-	-	-	-	-
1.2 遮音				-	-	-	-	-
1 開口部遮音性能				-	-	-	-	-
2 界壁遮音性能				-	-	-	-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-	-
1.3 吸音				-	-	-	-	-
2 温熱環境				-	-	-	-	-
2.1 室温制御				-	-	-	-	-
1 室温				-	-	-	-	-
2 外皮性能				-	-	-	-	-
3 ゾーン別制御性				-	-	-	-	-
2.2 湿度制御				-	-	-	-	-
2.3 空調方式				-	-	-	-	-
3 光・視環境				-	-	-	-	-
3.1 昼光利用				-	-	-	-	-
1 昼光率				-	-	-	-	-
2 方位別開口				-	-	-	-	-
3 昼光利用設備				-	-	-	-	-
3.2 グレア対策				-	-	-	-	-
1 昼光制御				-	-	-	-	-
3.3 照度				-	-	-	-	-
3.4 照明制御				-	-	-	-	-
4 空気質環境				-	-	-	-	-
4.1 発生源対策				-	-	-	-	-
1 化学汚染物質				-	-	-	-	-
4.2 換気				-	-	-	-	-
1 換気量				-	-	-	-	-
2 自然換気性能				-	-	-	-	-
3 取り入れ外気への配慮				-	-	-	-	-
4.3 運用管理				-	-	-	-	-
1 CO ₂ の監視				-	-	-	-	-
2 喫煙の制御				-	-	-	-	-
Q2 サービス性能				-	0.43	-	-	4.0
1 機能性				-	-	-	-	-
1.1 機能性・使いやすさ				-	-	-	-	-
1 広さ・収納性				-	-	-	-	-
2 高度情報通信設備対応				-	-	-	-	-
3 バリアフリー計画				-	-	-	-	-
1.2 心理性・快適性				-	-	-	-	-
1 広さ感・景観				-	-	-	-	-
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-	-
3 内装計画				-	-	-	-	-
1.3 維持管理				-	-	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計				-	-	-	-	-
2 維持管理用機能の確保				-	-	-	-	-
2 耐用性・信頼性				3.5	0.50	-	-	3.5
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-	-
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数				4.1	0.30	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.22	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		金属サイディング		5.0	0.22	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				-	-	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		外部露出ダクトなし、多湿部ガルバリウムダクト。		5.0	0.11	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		雑排水管:VP、汚水排水管:VP、通気管:VP		5.0	0.22	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.22	-	-	-
2.4 信頼性				4.0	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備		節水器具の採用、系統の分離、受水槽への蛇口の設置。		4.0	0.20	-	-	-
3 電気設備		受電設備の二重化を行っている		4.0	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法		耐震クラスA		4.0	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備		通信の多様化、重要機器の浸水レベルへの設置無し、テレビ共聴の設置。		5.0	0.20	-	-	-

3	対応性・更新性		4.6	0.50	-	-	4.6
3.1	空間のゆとり		5.0	0.30	-	-	
1	1 階高のゆとり	階高3.90m以上。	5.0	0.60	-	-	
2	2 空間の形状・自由さ	[壁長さ比率]<0.1	5.0	0.40	-	-	
3.2	3.2 荷重のゆとり	床荷重:4500N/m ² 以上	5.0	0.30	-	-	
3.3	3.3 設備の更新性		4.0	0.40	-	-	
1	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
2	2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
3	3 電気配線の更新性	ケーブルラック配線を採用	5.0	0.10	-	-	
4	4 通信配線の更新性	ケーブルラック配線を採用	5.0	0.10	-	-	
5	5 設備機器の更新性	ルータ・マシンハッチ、受電設備の二重化	5.0	0.20	-	-	
6	6 バックアップスペースの確保	バックアップ設備用のスペース有り	4.0	0.20	-	-	
Q3	Q3 室外環境(敷地内)		-	0.57	-	-	3.2
1	1 生物環境の保全と創出	-	3.0	0.30	-	-	3.0
2	2 まちなみ・景観への配慮	植栽により、良好な景観を形成している。	4.0	0.40	-	-	4.0
3	3 地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	3.0	0.50	-	-	
3.2	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	2.0	0.50	-	-	
LR	LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.9
LR1	LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	4.2
1	1 建物外皮の熱負荷抑制	-	-	-	-	-	-
2	2 自然エネルギー利用	ハイサイドライトを採用	4.0	0.13	-	-	4.0
3	3 設備システムの高効率化	BEI=0.38	4.4	0.63	-	-	4.4
	集合住宅以外の評価		4.4	1.00	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
4	4 効率的運用		4.0	0.25	-	-	4.0
	集合住宅以外の評価		4.0	1.00	-	-	
4.1	4.1 モニタリング	中央監視設備の設置	4.0	0.50	-	-	
4.2	4.2 運用管理体制	運用管理体制の作成、エネルギー消費量目標値の計画	4.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1	4.1 モニタリング	-	-	-	-	-	
4.2	4.2 運用管理体制	-	-	-	-	-	
LR2	LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.9
1	1 水資源保護		3.8	0.20	-	-	3.8
1.1	1.1 節水	節水型水栓に加えて、節水型便器を用いている。	4.0	0.40	-	-	
1.2	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.7	0.60	-	-	
1	1 雨水利用システム導入の有無	雨水利用設備設置	4.0	0.70	-	-	
2	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-	
2	2 非再生性資源の使用量削減		4.0	0.60	-	-	4.0
2.1	2.1 材料使用量の削減	-	3.0	0.10	-	-	
2.2	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.3	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	床:OA707、天井:岩綿吸音板、路盤材:RC-40	5.0	0.20	-	-	
2.5	2.5 持続可能な森林から産出された木材	地域産木材を使用している	5.0	0.10	-	-	
2.6	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	LGSとOAフロアを使用している。	5.0	0.20	-	-	
3	3 汚染物質含有材料の使用回避		3.9	0.20	-	-	3.9
3.1	3.1 有害物質を含まない材料の使用	化学物質排出把握管理促進法の対象物質を含有しない建材種別が4つ以上ある。	5.0	0.30	-	-	
3.2	3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
1	1 消火剤	-	-	-	-	-	
2	2 発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0	0.50	-	-	
3	3 冷媒	-	3.0	0.50	-	-	
LR3	LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.6
1	1 地球温暖化への配慮	LCO2排出率=76%	3.9	0.33	-	-	3.9
2	2 地域環境への配慮		3.7	0.33	-	-	3.7
2.1	2.1 大気汚染防止	燃焼機器を使用していない。	5.0	0.25	-	-	
2.2	2.2 温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.50	-	-	
2.3	2.3 地域インフラへの負荷抑制		4.0	0.25	-	-	
1	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
2	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
3	3 交通負荷抑制	適切な量の駐輪場・駐車場を確保している	5.0	0.25	-	-	
4	4 廃棄物処理負荷抑制	ゴミの多量分別回収が可能なストックスペースを計画	5.0	0.25	-	-	
3	3 周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	3.2
3.1	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	1 騒音	-	3.0	1.00	-	-	
2	2 振動	-	-	-	-	-	
3	3 悪臭	-	-	-	-	-	
3.2	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	1 風害の抑制	風害に対する要請が特にない	3.0	0.70	-	-	
2	2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	
3	3 日照阻害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
3.3	3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
1	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	チェックリストの過半を満たす、広告物照明無し	5.0	0.70	-	-	
2	2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版

ロジスクエア京田辺B新築工事

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	1.0		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	3.0	3.0	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	3.0	2.0	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	4.0		○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	7.0		2.0	-	1.0	-	1.0	1.0	1.0	-	1.0	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	4.0		2.0	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0		-	1.0	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	5.0		-	1.0	-	-	1.0	-	-	-	1.0	2.0	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	1.0		-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 排水水等再利用システム導入の有無	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	2.0		-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0		○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	4.0		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	8.0		1.0	-	-	3.0	1.0	-	-	2.0	1.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	4.0		1.0	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	5.0		1.0	1.0	1.0	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策	4.0		2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η) -			
U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁	床	
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	η AC	η AH	
昼光率	1.5%				
自然換気有効開口面積率	3.3%				

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

3 設備システムの高効率化

非住宅部分

集合住宅の評価

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

執務スペース	.0㎡ /人	病床	.0㎡ /床	シングル	.0㎡ ツイン	.0㎡	
コンセント容量	0.0 VA/㎡						
天井高	0 m						
リフレッシュスペース	0.5%	レストスペース	2.0%				
想定耐用年数	0 年						
想定必要間隔	40 年						
想定必要間隔	0 年						
想定必要間隔	15 年						
階高	7.25 m						
壁長さ比率	4.0%						
床荷重	15000 N/m2						
外構緑化指数	18%	建物緑化指数	0%				
空地率	40%	水平投影面積率	5%	地表面対策面積率	10%	舗装面積率	0%
BPI/BPI _{in}	-	断熱等性能等級	対象外 相当				
自然エネルギー直接利用量	3.47 MJ/年㎡	採光を満たす教室数	0.0%	採光を満たす住戸数	0.0%		
		通風を満たす教室数	0.0%	通風を満たす住戸数	0.0%		
		太陽光	.0kW	太陽熱等	.0kW	蓄電池	.0kW
BEI/BEI _{in}	再エネ有	0.38	無	0.38	オフサイト再エネ有	0.38	-
一次エネルギー削減率	再エネ有	無					-
雨水利用率	0.0%						
特定調達品目	RC-40	エコマーク商品	アークテクト、ホーボリ指定の特選品目等				-
使用比率	100.0%						
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)					
オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	3				
オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	675				
見付面積比	86%	隣棟間隔指標R _w	1.23				
地表面対策面積率	18.0%	屋根面対策面積率	#DIV/0!	外壁面対策面積率	#DIV/0!		
見付面積S _b	4.190㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅W _s	189.51 m	基準高さH _b	25.66 m		
緑地	762㎡	水面	㎡	保水性対策面	㎡	高反射対策面	㎡
				再帰性反射対策面	㎡		